

豪雨・台風・地震などの災害に備えて

◎ 総務課 交通防災係 ☎(232)2111

大雨や台風などが心配される季節です。災害から身を守るために、日頃から家族や地域で防災について話し合い、災害に備えましょう。

災害の起りやすい季節です

台風や地震などに代表される自然災害は世界中で発生しており、多くの被害をもたらしています。日本も例外ではなく、昨年3月に発生した東日本大震災、9月の台風12号による紀伊半島豪雨は甚大な被害をもたらしました。県下では梅雨時期から10月頃にかけて豪雨や台風などによる災害が毎年発生しています。

災害に備えて

町では、このような災害に対処するため、5月31日に菊陽町防災会議を開催しました。会議では、梅雨時期の天候予想や自衛隊の災害時の体制と併せて、町防災計画の説明などを行い、参加した委員をはじめ各関係機関などと災害時に必要な情報を共有しました。また、6月10日から菊陽町消防団各分団による危険箇所の水防巡視を行っています。

土砂災害警戒情報とは、大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき、市町村長が避難勧告などを発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるように、都道府県と気象庁が共同で発表する情報です。

土砂災害警戒情報に注意を

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、斜面の状況には常に注意を払い、普段とは異なる状況(一般に「土砂災害の前兆現象」といいます)に気付いた場合は、直ちに周りの人と安全な場所に避難し、役場などに連絡してください。

土砂災害を引き起こす雨量

土砂災害の多くは、雨が引き金になって起こります。降った雨水が地面に染み込み、そのまままた降ったときの深さをミリメートルで表したものが雨量です。予報などで「1日で100mmの雨量」ということは「1日で雨が水深10cmまでたまる」という意味になります。「たった10

防災に対する意識を高めることで、災害発生時の被害を最小限に抑えることができます。危険を感じたら早めに避難するなど、日頃から災害に備えましょう。

身を守るための情報収集を

台風や大雨などのとき気象庁から発表される注意報や警報は、各地域の皆さんに注意を呼び掛け、災害による被害を最小限に食い止めるために発令されます。

テレビやラジオなどで、最新の気象情報を得るようにしましょう。警報や避難勧告・指示が出された場合、または勧告などがなくても、長雨や大雨などで身の危険を感じたときは、自主的に身近な避難場所へ速やかに避難してください。

下に大雨が予想された場合の各種防災気象情報の内容とタイミングの一例を掲載します。必ずこのような順序で発令されるとは限りませんが、どんなときにどんな情報が発表されるのかをイメージするためにご活用ください。

cm」と思いかもしれませんが、道路や屋根の上などあらゆる場所に10cmたまることになるため、この雨水が河川などに流れ込むと一気に水位が上がり、災害が起こりやすくなります。1時間に20mm以上、または降り始めてから100mm以上の雨量になったら注意しましょう。台風や梅雨期の大雨では局地的に1日当たり300mmを超える雨が降ることも珍しくありません。

家族で確認! 災害時の五カ条

- 1 雨や風が強いときは、むやみに外に出ない。川や水路、屋根など危険なところに近づかない。
- 2 河川などが増水しているときは、風呂や洗濯の排水は控える。
- 3 テレビやラジオなどで最新の気象情報を確認する。
- 4 家族と連絡を取り合い、防災ハザードマップで避難場所を確認する。
- 5 いつでも避難できるように非常携行品などを1カ所にまとめる。

防災意識を高め 災害の備えを



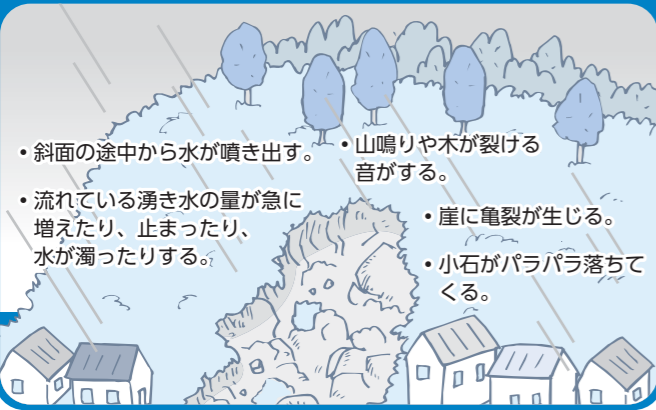
菊陽町防災会議会長 菊陽町長 後藤 三雄

昨年発生した東日本大震災は、私たちの想像をはるかに超える被害をもたらしました。

災害はいつ起こるか分かりません。町では、毎年「菊陽町防災会議」を開催し、気象庁や自衛隊、関係機関の委員とともに、災害時の体制などについて情報を共有し、万が一の災害に備えています。

しかし、災害から身を守るためには、皆さん一人一人が防災に対する意識を高めてもらうことも必要です。ご家庭でも避難場所の確認や非常用持出品を準備するなど、災害への備えをお願いします。

土砂災害の前兆現象



菊陽町防災ハザードマップ

町では「菊陽町防災ハザードマップ」を作成し、各家庭に配布しています。防災マップには、避難場所や危険区域、緊急連絡先が記載されています。町ホームページにも掲載しています。



- 非常用持出品チェックシート
- 貴重品 □現金 □預金通帳 など
 - 避難用具 □懐中電灯 など
 - 生活用品 □厚手の手袋 など
 - 救急用具 □救急箱 □持病の薬
 - 非常食糧 □乾パン □缶詰 など
 - 衣料品 □下着・靴下・防寒服 など
 - その他 □カイロ □ごみ袋 など

熊本県防災情報メールサービス

災害に備え、地震や津波、火山の情報、避難勧告などの災害時に重要な情報をメールでお届けします。ぜひご利用ください。

登録方法

空メールを送信して登録

entry@anshin.pref.kumamoto.jp

※携帯電話からのメールサービスの登録は、二次元バーコードを読み取ってメールを送信してください。

■利用料金 無料(メール受信のパケット通信料は必要)

問い合わせ

熊本県知事公室 危機管理防災課 ☎(333)2118



九州電力からのお知らせ

台風時の停電情報をチェック!

台風による停電時には、電話がつながりにくくなることがあります。台風などの非常災害時の停電情報は、右記のホームページでもご確認いただけます。

携帯電話版ホームページ <http://kyuden.jp/>

パソコン版ホームページ <http://www.kyuden.co.jp/>

携帯メールサービス

台風による停電時には、登録された携帯電話に停電情報をメール配信します。詳しくは、上記ホームページをご覧ください。



災害時の問い合わせ

機関名	連絡先(緊急)	内容
菊陽町役場	☎(232)2111	災害の状況、復旧など
大津警察署	☎(294)0110(110)	治安、交通など
菊池広域連合南消防署	☎(232)9331(119)	負傷者の救急、緊急搬送など
菊池広域連合泉ヶ丘消防署	☎(248)4731	
大津菊陽水道企業団	☎(293)7711	水道被害に関すること
合志市水道局	☎(248)1232	※地区ごとで管轄が違います。事前に確認してください。
熊本市水道局	☎(361)5448	
大菊土地改良区	☎(293)6851	農地・農業用施設の被害状況、復旧に関すること
馬場楠塚土地改良区	☎(380)2052	
九州電力大津営業所	☎0120(986)602	電力供給など
九州電力熊本西営業所	☎0120(986)603	※地区ごとで管轄が違います。事前に確認してください。
西部ガス株式会社	☎(370)8600	ガス供給など
菊陽町プロパンガス組合	☎(232)2200	※加入しているガス・プロパンガス会社へお問い合わせください。
N T T 西日本熊本支店	☎(321)3083(113)	電話に関すること

※水道・ガス・電気などの供給断絶は一時的な場合がありますので、しばらく様子を見てからお問い合わせください。

各種防災気象情報のタイミングの例

大雨の場合に気象台が発表する防災気象情報

